

## 第2章：聴覚障害者が感じるハンディキャップ

聴覚障害は「見えない障害」といわれ、外見からは障害の有無がわかりません。

そのため、聴覚障害者が抱えるハンディキャップも気づかれにくい側面があります。聴覚障害者が生活のうえで抱えているハンディキャップには次のようなものがあり、それぞれに対して適切なサポートが必要です。

### ！ 聴覚障害者が感じるハンディキャップ

#### ◆コミュニケーションの仕方を

理解してもらえない

意思疎通ができず、もどかしい  
思いをすることがあります。



#### ◆放送や連絡がわからない

校内放送や駅のアナウンスの内容  
がわからず、必要な情報が得られな  
いことがあります。



#### ◆授業がわがらない

授業に出席しても内容がつかみ  
にくく、教科書や書かれた文字を  
読んでいるだけになります。



#### ◆友達や同僚との会話に入れない

まわりの学生が笑っていても、聴  
覚障害学生には会話の内容がわ  
からないことがあります。



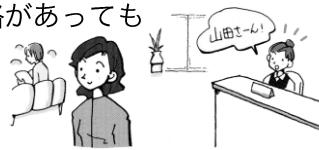
#### ◆音に反応する行動がとれない

周囲の音から状況を判断して行動す  
ることができない時があります。



#### ◆呼び出しや放送がわからない

名前を呼ばれたり、大事な連絡があっても  
わからないことがあります。



#### ◆討論についていけない

他の学生との意見交換が目的の  
ゼミにおいては、討議に参加する  
ことが難しくなります。



#### ？ 考えてみよう！

◆上記以外に生活の中でどのようなハンディキャップ  
があるでしょうか？

◆聴覚障害者に対して、どのようなサポート・配慮が  
必要でしょうか？

### ？ どのようなサポートが可能ですか？

状況や相手に合わせたサポートが必要になります。

◆周囲の人が、聴覚障害やコミュニケーション方法について理解し、本人に合う形でコミュニケーションをと  
っていく。

◆車・自転車が近づいてきた時は、周りの人が気付かせてあげる。

◆ノートテイクや手話通訳を手配する。

◆音声情報を、字幕や掲示板、メールなどの文字情報に変換して伝える。

◆振動式呼び出し器、お知らせランプなど、振動や光で伝える機器を用いる。

### ？ 改善されつつあるハンディキャップ

【映画の字幕】以前は洋画にしか字幕がつきませんでしたが、現在では日は限られているものの字幕つきの  
邦画を放映する映画館も増えてきています。この情報は映画館HPから確認できます。

【インターネット・携帯電話】これらにより聴覚障害者の情報収集やコミュニケーションの幅が広がりました。

【運転免許】以前は運転免許取得ができませんでしたが、2008年に条件付きで取得できるようになりました。